



第47回

豊田おいでんまつり 実施報告 (案)



豊田おいでんまつり実行委員会

目次

豊田おいでんまつりについて	1
I 踊りについて	3
II 花火について	7
III 警備について	8
IV その他会場・運営について	10
V 協賛について	12
VI 広報・宣伝について	13
VII 総務について	16

1 構成

マイタウンおいでんとおいでんファイナルからなる「踊り」と、「花火大会」で構成される豊田市最大のまつりです。

2 趣旨

市民が楽しみ、感動し、訪れる人を温かく迎えるふるさとのまつりを行政・市民・事業者の共働の力でつくります。そして、活力ある豊かな観光交流都市・豊田市のまちづくりに貢献します。また、「WE LOVE とよた」の推進のため、会場装飾や仕掛け花火等、各種取組でPRしました。

3 主催

豊田市・豊田市観光協会・中日新聞社・東海テレビ放送

4 基本テーマ

「笑顔になれる 笑顔に逢える ふるさとのまつり」

5 スケジュール

日 程	内 容
2月2日(月)～13日(金)	マイタウンおいでん開催申込受付
4月15日(水)～5月13日(水)	マイタウンおいでん、リトルおいでん、ハリボテ参加申込受付
5月20日(水)	マイタウンおいでん出場可否の発表(HP等で発表)
5月25日(月)～29日(金)	リトルおいでん踊り位置抽選
5月25日(月)～6月3日(水)	マイタウンおいでん追加申込受付
6月5日(金)	マイタウンおいでん追加出場可否発表(HP等で発表)
6月13日(土)～7月12日(日)	マイタウンおいでん
7月13日(月)	おいでんファイナル参加連の発表(HP等で発表)
7月15日(水)	おいでんファイナル参加連説明会、踊りスタート位置抽選会
7月25日(土)	おいでんファイナル
7月26日(日)	花火大会

6 豊田おいでんまつり第47回開催に向けての関係会議等

年	日 程	内 容
平成26年	10月15日(水)	第1回マイタウンおいでん連絡協議会
	10月21日(火)	第1回踊り部会
	11月11日(火)	第2回踊り部会
	12月17日(水)	第2回マイタウンおいでん連絡協議会
	12月18日(木)	第3回踊り部会
平成27年	1月9日(金)	第1回幹事会
	1月21日(水)	第3回マイタウンおいでん連絡協議会
	1月22日(木)	第4回踊り部会
	1月29日(木)	第1回実行委員会(基本計画策定)
	2月6日(金)	第5回踊り部会
	2月18日(水)	第4回マイタウンおいでん連絡協議会
	2月24日(火)	第6回踊り部会
	3月9日(月)	第7回踊り部会
	3月18日(水)	第5回マイタウンおいでん連絡協議会
	3月23日(月)	第8回踊り部会
	4月6日(月)	第9回踊り部会
	4月15日(水)	第6回マイタウンおいでん連絡協議会
	4月20日(月)	第10回踊り部会
	5月11日(月)	第11回踊り部会
	5月20日(水)	第7回マイタウンおいでん連絡協議会
	5月25日(月)	第12回踊り部会
	5月28日(木)	第2回実行委員会(実施計画策定)
	6月2日(火)	花火師事前説明会
	6月8日(月)	第13回踊り部会
	6月10日(水)	第8回マイタウンおいでん連絡協議会
	6月22日(月)	第14回踊り部会
	7月6日(月)	第15回踊り部会
	7月21日(火)	審査員ボランティア説明会
	8月27日(木)	第3回実行委員会(実施報告)

1 マイタウンおいでん

(1) 開催実績

- ア 開催期間 6月13日(土)～7月12日(日)
- イ 会場数 15会場(前回実績:16会場)
- ウ 開催回数 15回(前回実績:17回)
- エ 踊り連数 135連 3,422人、リトル:14連 771人
(前回実績:132連 3,513人、リトル:16連 915人)
- オ 観客数 25,750人(前回実績:32,580人)
- カ 各マイタウンおいでんの実績

開催日	マイタウン名称	天気	参加数		リトル参加数		観客数
			連	人数	連	人数	
6月13日(土)	豊スタおいでん夏まつり 2015	曇	10	252	0	0	5,000
	踊ろ舞!おいでん小原	曇	5	111	0	0	500
6月20日(土)	マイタウンほみにおいでん 2015	曇	6	141	0	0	1,500
	足助地区おいでんまつり	曇	7	229	0	0	250
6月27日(土)	おいでん香恋の里 しもやま	曇/雨	10	202	0	0	500
7月4日(土)	稲武おいでんまつり 2015	曇/雨	9	204	0	0	400
	猿投おいでん夏まつり	曇/雨	21	601	3	106	1,500
	IYOIYO おいでん	曇/雨	11	256	0	0	800
	おいでんまつり松平	曇/雨	8	235	0	0	2,000
7月11日(土)	おいでんあさひ風鈴まつり	晴/曇	5	83	1	17	500
	ふじおかおいでん夏まつり 2015	晴/曇	9	248	1	26	5,500
	ほ～い、おいでん・大林 2015	晴/曇	9	226	2	320	2,000
	マイタウンおいでん高岡	晴/曇	3	74	5	214	3,500
	まちなかおいでん with JA	晴/曇	10	249	1	21	1,000
7月12日(日)	おいでん上郷! 2015	晴/曇	12	311	1	67	800
合計			135	3,422	14	771	25,750
(前回実績)			(132)	(3,513)	(16)	(915)	(32,580)

(2) 内容

- ア 今年度はおいでんフェスタ in 司の開催がなく、まちなかおいでん with JA の開催も2日間から1日のみにになりました。
- イ それぞれの地域において、自治区や商店街、踊り連が中心となった地域主体のマイタウンおいでん運営委員会が立ち上がり、サンバ、風鈴、音頭、生歌など地域ごとに特色あるマイタウンおいでんが実施されました。
- ウ マイタウンおいでん運営委員会の代表者で構成するマイタウンおいでん連絡協議会で、運営に関する情報を共有しました。

- エ マイタウンおいでん連絡協議会で、「1万人のおいでんモザイク」と名付けてフォトモザイクアートを実施しました。ファイナルでは、駅前通りの柱に展示し、会場を華やかに飾りました。
- オ リトルおいでんを7会場で実施し、未就学児の子どもたちの参加により、更なるまつりの盛り上げを行うことができました。
- カ 踊りインストラクターの指導や、振付映像の投影により、全会場で基本の踊り（ディスコ調）を練習し、おいでんファイナルでの披露に向け取り組みました。

(3) 課題

- ア これまでの開催実績や地理的な面等から、マイタウン会場により参加希望の多寡がありました。
- イ 日程によって会場数に偏りがあり、参加者の会場選定やインストラクターの会場への派遣などに影響がでました。

2 おいでんファイナル

(1) 開催実績

- ア 開催日時 7月25日(土) 17:00~20:30
- イ 参加者数 74連 2,368人、リトル:39連 2,013人
(前回実績:72連 2,148人、リトル:39連 2,067人)
- ウ 観客数 115,000人(前回実績:115,000人)
- エ スケジュール

行事名	開催時間	場所	行事内容
オープニング	17:00~18:15	名鉄 豊田市駅 東側一帯	美里幼稚園・こじまこども園・豊田市ジュニアマーチングバンド演奏、WE LOVE とよたタイム、大賞旗返還、市長挨拶
リトルおいでん	18:15~18:45		未就学児による踊り 【39連 2,013人】
踊りファイナル	18:55~20:30		踊り連(一般・子ども)による踊り 【74連 2,368人】
ハリボテ	17:00~20:30		ハリボテ展示(記念撮影)とコンテスト 【3基】
屋台広場	17:00~20:30	挙母神社	屋台

オ 表彰結果

賞	部門	連名
おいでん大賞	基本の踊り	A-girls ~たいせつなともだち~
	アレンジ	HOPE STAR
優秀賞	基本の踊り	ULYSIS
	アレンジ	侍 Souls
トヨタふれあい大賞	基本の踊り	おいでん総踊り保存会 一期一会
	アレンジ	五代目な~んちゃってマッチョ!!''闘''
チビッコ大賞	基本の踊り	たいせつなともだち~Hoaloha~
	アレンジ	エンジェル RG
入賞	基本の踊り	羽ばたけ!天道虫
	基本の踊り	アイレディースにぎやか連
	基本の踊り	おし鴨~ン。
	アレンジ	サバイバルリターンズ
	アレンジ	岡の上のプレッツェル
	アレンジ	ボデーアライブミヤビ
カムバック賞	アレンジ	cheer bunnies
	アレンジ	0-team

賞	連 名
ハリボテ大賞	大林学区踊り連
ハリボテ準大賞	浄水はじけ隊

※その他 個人賞 89人 (メダル)

(2) 内容

ア 地元豊田市を中心に活動する笑劇派が総合司会を務め、地域色の強いまつり演出を行いました。また、「WE LOVE とよたタイム」を設け、来場者に向けて豊田市の良さを情報発信しました。(ラグビーW杯のPR、徳川家康公没後400年祭のPR、Star★Tのライブ、MIRAIを先頭としたパレード等を実施)

イ 市長挨拶の中で、ステージ上にデトロイト市長を招き、デトロイト市との姉妹都市提携55周年をPRしました。

ウ 基本の踊り部門とアレンジ部門とに分け、踊りの巧拙だけでなく、多様な観点から踊り連を審査しました。

エ 踊りファイナル全15曲のうち、13曲目に基本の踊り(ディスコ調)を踊り連全員で踊り、おいでん踊りの魅力・楽しさを発信しました。おいでん踊りを広くPRするキャラクターとして作られた「オイデンジャー」が、駅前ステージに登場し、まつりを盛り上げました。

オ まつり本部に観覧席を設け、来場者が落ち着いて踊りを見られる場所をつくりました。また、北地区再開発事業により使用できなくなった歩道の代替として2メートルの仮通路を設置し、来場者の導線確保に努めました。

カ 竹生線沿線の街路灯に取り付けた照明を点滅から全点灯に変更し、竹生線沿線の照度を確保しました。

キ 喜多町3丁目交差点にきたさんステージを設け、駅前ステージと連携を図りながらまつりを盛り上げました。

ク 観客が踊りに参加できる「飛入りエリア」を新たに設けました。飛入り参加は160人でした。

(3) 課題

ア 踊り連の参加者は昨年より増えたものの、更なる増加に向けて取り組む必要があります。

イ 来年以降の飛入り連の設置については、効果を検証した上で検討する必要があります。

Ⅱ 花火について



1 花火大会

(1) 開催実績

- ア 開催日時 7月27日(日) 19:10~21:00
イ 観客数 360,000人(前回実績:360,000人)
ウ 打上発数 13,000発(前回実績:13,000発)

種類	数	
打上げ花火	5号玉	40玉
	8号玉	25玉
	10号玉	26玉
	芸術協会 8号玉	10玉
	芸術協会 10号玉	10玉
手筒花火	20本	
仕掛け花火	5基	
スターマイン	31基	
花火師紹介創作花火	7基	
号砲	20玉	

(2) 内容

- ア 前回から引き続き協賛席内の砂塵を防止するため、協賛者通路にシートを設置し、より快適な環境で花火観覧をしていただきました。
- イ 大会終了後、協賛席からの退場人数を制限することで、堤防道路上の混雑を緩和し、来場者の安全を確保しました。
- ウ 前回から引き続き白浜側堤防斜面を転落防止のため、テープロープで立入禁止にしました。
- エ 前回から引き続きおいでんファイナルにて、おいでん大賞を受賞した踊り連を花火会場に招待し、特設ステージで踊りを披露しました。
- オ 仕掛け花火に「WE LOVE とよた」の演出を取り入れました。
- カ 徳川家康公400年祭を記念して、松平郷の手筒花火の後ろで『松平郷』の仕掛け花火を取り入れました。
- キ デトロイト市との姉妹都市提携55周年を記念して、デトロイト市ゆかりの音楽を演出に取り入れました。

(3) 課題

- ア 協賛席内の仮設トイレが混雑しました。
- イ スカイホール豊田に新設した屋台エリアのゴミステーションが十分に対応できませんでした。
- ウ 場所取り可能エリアについて、観覧者間でのトラブルが発生しました。

1 会場警備・交通規制・雑踏

(1) 警備体制実績

(単位 人)

内容		踊り	花火大会
市職員	産業部	4	4
警備員	警備ディレクター	9	9
	警備隊長	16	28
	遊撃警備	93	83
	交通誘導警備	62	132
	雑踏警備	101	297
	駐車所警備	11	26
	整理誘導要員	5	76
ボランティア	消防団	48	220
	青少年補導員	50	8
	保護司会	30	—
合計		429	883

(2) 内容

ア おいでんファイナル

- (ア) 踊りコース各所に「横断帯」を設け、踊り休憩中に観客を横断させるなどの安全対策を行いました。
- (イ) 警備計画を策定し、交通誘導警備員、雑踏警備員、駐車場警備員、消防団員、消防車両を適切に配置し、観客や通行車両を安全に誘導しました。
- (ウ) 青少年健全育成のため、豊田市駅周辺の若者滞留場所にフェンス等を設置し、駅前周辺の安全向上と防犯対策に取り組みました。
- (エ) 会場周辺での屋外出店者に対し、出店時間の統一、未成年者への酒類販売禁止の徹底を依頼し、マナーとモラルの向上を呼びかけました。

イ 花火大会

- (ア) まつり本部内において、警備・警察・消防との連携体制を密にし、花火大会の安全確保と救急搬送対応を行いました。
- (イ) 白浜側堤防道路上でのカラーコーン・バーなどの資機材を用いたエリアの運用、警察・消防との綿密な打ち合わせにより、緊急車両の動線と歩行者通路を設けて、来場者の安全を確保しました。
- (ウ) 立入禁止区域と交通規制区域内への進入防止や、会場周辺の渋滞を防ぐため、誘導・迂回看板、横断幕を適所に設置しました。
- (エ) 豊田市駅東口から豊田大橋までの車道上に緊急車両が通るための緊急対策エリアを設け、緊急時の対応が速やかに行えるようにしました。

ウ おいでんファイナル・花火大会共通

- (ア) 「警備員の資質向上研修」をまつり開催前に3回行い、警備関係者と連携した警備体制の強化を行いました。

(イ) 豊田市青少年補導員による街頭補導を実施しました。

(単位 人)

区 分		踊り	花火
		17:00～18:30	17:30～19:00
活動補導員		48	10
指導人数	小学生	38	5
	中学生	52	0
	高校生	39	13
	その他	38	0
指導人数合計		167	18

(注) 指導内容は、喫煙、帰宅注意、交通安全の呼びかけ

(3) 課題

- ア 緊急対策エリアについて、事前周知及び警察との連携により、心配された大きな混乱はなく、運用することが出来ました。しかし、花火打上げの時間帯において、一部に混雑が見受けられました。
- イ 花火大会終了後、駅前ロータリー手前で看板及びアナウンスにより、名古屋鉄道利用者と愛知環状鉄道利用者を分散誘導することができました。より一層の駅前の混雑の解消のため、鉄道事業者等と協力体制を構築していきます。
- ウ 路上駐車対策について、事前の広報、当日の巡回活動等により、対策を講じましたが、路上駐車が発生したエリアがありました。

2 救護

(1) 救護実績

(単位 人)

状況	踊り	花火	計
怪我 (うち、救急搬送人数)	3 (0)	4 (1)	7 (1)
体調不良 (うち、救急搬送人数)	3 (1)	20 (3)	23 (4)
合計 (うち、救急搬送人数)	6 (1)	24 (4)	30 (5)

※救護所数

5か所

5か所

(2) 内容

- ア 各救護所に消防職員と保健師を配置し、水、氷、AED、車イス、救急用医薬品等を設置しました。
- イ 救急車の出動時には、消防・警察・警備員と連携して、事前に定めたピックアップポイントを活用し、緊急対策エリアが有効に機能し、迅速な搬送が出来ました。
- ウ 踊り連に対して、事前説明会で熱中症予防の資料を配布しました。また、まつり会場内において、水分補給を促すアナウンスを実施すると共に、塩飴を踊り連に配布しました。

IV その他会場・運営について



1 運営スタッフ・ボランティア実績（清掃活動参加者を含む。） （単位 人）

内容		踊り	花火
市職員	産業部	51	93
	消防	35	40
	その他応援	3	10
委託スタッフ	進行	50	20
	運営	61	69
ボランティア	一般・市職員互助会	88	49
	市役所職制会	20	130
	クリーンキャンペーン（企業・団体）	—	110 うち翌日85
合計		308	521

2 ごみ・清掃対策

(1) ごみ回収量実績 （単位 kg）

区分		踊り	花火	計
資源ごみ	ペットボトル	42	1,100	1,142
	カン・ビン	61	1,060	1,121
燃やすごみ		125	2,400	2,525
産業廃棄物（廃プラ）		80	3,370	3,450
排出量合計		308	7,930	8,238

(2) 内容

ア おいでんファイナルと花火大会両日、ごみの散乱防止のため、駅前に横断幕を設置しました。

さらに、ごみステーションを会場内やその周辺に設置箇所を増設しました。

イ 市役所職制会及び企業・団体の清掃ボランティア、まつりの運営に係わるスタッフ・ボランティアにより、会場内やその周辺のごみ分別・回収活動を実施しました。

ウ ごみステーションを増設し、効率的にごみを回収できたため、ごみの総回収量が前年比約0.5%増加しました。

(3) 課題

ア まつり会場内やその周辺での喫煙マナーが悪く、吸殻が散乱していました。

イ ごみステーションの増設に伴い、停車場線上ではごみの散乱は減少しましたが、八幡公園、裏路地でごみが増加しました。

3 屋台広場

(1) 開催実績

ア	7月25日(土)	挙母神社	17:00~20:30	約 80店
イ	7月26日(日)	豊田スタジアム東エリア	17:00~21:00	約 50店
		スカイホール豊田南入口エリア	17:00~21:00	約 50店
		八幡公園	17:00~21:00	約 90店

(2) 内容

ア 屋台広場には、多くの来場者があり、まつりの雰囲気醸し出すとともに、終了時間まで大いに賑わいました。

イ 消防と連携し各店舗に立入検査を実施し、消火設備等の確認を行い、安全確保に努めました。

ウ 停車場線、大橋アンダーパスの屋台広場をなくし、八幡公園の他に新たにスカイホール豊田、豊田スタジアムに屋台広場を開設し分散化させ、来場者動線の安全対策に努めました。

V 協賛について



1 協賛実績

(単位 円)

区 分	第47回	第46回
花火	62,332,136	62,752,000
法人	23,084,636	22,690,500
バスツアー	2,305,500	2,400,500
個人	36,942,000	37,661,000
広告等	7,784,000	9,491,000
その他(賞金等)	604,500	624,500
合 計	70,720,636	72,867,500

2 内容

ア 企業による広告協賛の実績は減少しましたが、スターマイン協賛が増加し、企業とともにまつりを盛り上げることができました。

イ 個人及び法人の協賛受付をセブンドリーム・ドットコムに業務委託し、店頭広告などのPRにより、多くの市民から協賛を得ることができました。個人協賛の一般受付では全国のセブンイレブン店頭、インターネット及び電話で協賛の受付を行いました。協賛受付の広報のため、テレビ、ラジオ、新聞広告、雑誌、ポスター、セブンイレブン店頭、豊田おいでんまつり公式サイト等で、広く豊田おいでんまつりをPRしました。

ウ 法人協賛と個人協賛で分かれていた受付窓口を1つにすることにより、花火大会協賛席入場券の重複が無くなりました。また、個人の市民先行と一般を連続して受付することができました。

エ 県内外の旅行会社、バス会社向けに花火観覧バスツアーの呼びかけをしたところ、名古屋や三重方面の旅行会社6社から申込みがあり、大型バス12台で約500人の協賛(イス席)を得ることができました。

3 課題

ア 台風接近の懸念から花火大会の開催が危ぶまれ、直前期における個人協賛申込が前回に比べて減少しました。

イ 協賛を頂くにあたり、熱意と工夫をもって取り組む姿勢が必要です。

1 広報実績

(1) テレビ放送

ア 東海テレビCM制作、放送

(ア) CM制作

豊田おいでんまつりのイメージ向上、開催PRのためのCMを作りました。

(イ) CM告知

7月4日(土)から25日(土)にかけて、30秒間のCMを13回放送しました。

イ ひまわりネットワーク生中継

おいでんファイナル及び花火大会当日に、生中継を行いました。

(2) 新聞広告

新聞名	掲載日
読売新聞	7/4 (土)
中日新聞	7/11 (土)
朝日新聞	6/27 (土)、7/16 (木)
毎日新聞	7/17 (金)
矢作新報	7/17 (金)
新三河タイムス	6/11 (木)
とよたホームニュース	7/18 (土)

(3) ポスター

ア 踊り連募集とおいでんまつりをPRするポスターの

2種類を作成し、まちなかでおいでんまつりを盛り上げました。

(踊り連募集PR 1,340枚、全体PR 4,490枚)

イ デザインは、おいでんまつり花火大会の迫力と

踊りの熱気や楽しさを表現しました。



掲示先	掲示期間	踊り連募集用	まつり用
マイタウン運営委員会	5月上旬～	450枚	230枚
協賛企業・近隣市町村	6月上旬～	—	1,055枚
市内組合業者・宿泊施設	5月上旬～	35枚	841枚
市関係機関 他	5月上旬～	712枚	718枚
おいでんバス・名鉄バス	5月上旬～	138枚	137枚
名鉄電車・愛知環状鉄道	7月上旬～	—	1,340枚

(4) 公式ガイド

- ア おいでんファイナル、花火大会の情報を掲載した公式ガイドを15万部作成しました。
- イ 7月18日(土)に、市内全域及び周辺地域に新聞折込を行い、一部は会場や中心市街地の施設などで配布しました。



(5) 新聞記事、広報とよた

- ア おいでんまつりに関する記事を、定期的に中日新聞に掲載していただきました。

掲載日	見出し
4月11日(土)	花火大会の協賛募る
7月7日(火)	花火大会の指定席販売中
7月16日(木)	1人もOK踊り連発足
7月28日(火)	踊り連参加“増”観客数は“減”

- イ おいでんまつり関係情報を広報とよたに8回出稿しました。

(6) 情報誌・インターネットサイトなど

県内外の情報誌、インターネットサイトなどに掲載していただきました。

(単位 件)

宣伝媒体	数	内訳
情報誌	31	マイタウンおいでん (3)
インターネットサイト	17	ファイナル・花火大会 (6)
合計	48	花火大会 (22)

(7) テレビ、ラジオなど

放送機関	内容	日付	出演
FM ラジオラブヒート	ボランティア募集	4月20日	○
ひまわり (CATV)	踊り連募集	4月30日	○
ひまわり (CATV)	花火協賛受付	5月22日	○
ひまわり (CATV)	マイタウンおいでん告知	6月5日	○
東海テレビ	おいでんファイナル・花火大会告知	6月15日	
ひまわり (CATV)	おいでんファイナル・花火大会告知	7月17日	○
東海テレビ	おいでんファイナル・花火大会告知	7月17日	
ラジオサンキュー	おいでんファイナル・花火大会告知	7月24日	○
CBCテレビ (ゴゴスマ)	花火大会紹介	7月23日	

放送機関	内容	日付	出演
東海テレビ	おいでんファイナル・花火大会告知	7月24日	
ひまわり（CATV）	おいでんファイナル・花火大会中継	7月25日、26日	
FM ラジオラブイート	おいでんファイナル・花火大会中継	7月25日、26日	○

※ ○は、実行委員会事務局が出演

2 内容

ア おいでんまつり開催前からまつりムードを高めるため、おいでんまつりに関する情報が市民の目に触れるように、定期的に報道発表を行いました。

イ 東海テレビ放送によるCM制作・放送では、おいでんまつりのイメージ向上と市外へ幅広い周知をすることができました。

ウ テレビ・ラジオなどメディアの取材で、積極的なPR活動を行いました。

エ 駅前の空店舗の窓ガラス一面においでんまつりのポスターを10枚貼り、通行する人への周知とまつりの盛り上げを行いました。

3 課題

さらに効果的なまつりのPR方法を検討する必要があります。

1 第47回豊田おいでんまつり開催費概算（8月7日現在）

ア 収入

（単位 千円）

内容	金額
市負担金	193,000
繰越金	956
協賛金	70,720
その他収入	137
合 計	264,813

イ 支出

内容	金額
総務費	4,245
広報・宣伝	25,093
踊り	67,355
花火	126,191
警備	41,929
合 計	264,813

2 内容

デトロイト市長を始め、国、県の関係機関、まつりに御協力いただいた地元の方々、まつりに御協賛いただいた企業の皆さまを、来賓としておいでんファイナル・花火会場へ御招待しました。

ア おいでんファイナル 133名

イ 花火大会 1,213名